

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年12月5日

事業所名：るーと

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋のスペースは限られていますが、その中で遊具の配置や入れ替え等を行い、活動のスペースを確保しています。	はい:19、どちらともいえない:3、いいえ:2 (回答率 24/34) もう少し広がったら嬉しい。	スペースを広げることは難しいため、物の配置などを工夫し、より安全に楽しく活動できるスペースを確保していきます。
	2 職員の適切な配置	安全に療育ができる人員を配置しています。 今年度より常勤保育士を1名追加して配置しています。	はい:23、わからない:1(回答率24/34) 壁に自己紹介などが貼ってあります。	今後も安全に療育ができる体制を整えていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	身体を動かす部屋と机上活動を行う部屋を分けています。また、ゲートを設けることで活動の区切りをつけやすくしています。 昨年度より、視線入力装置や電動車椅子も導入しています。	はい:24(回答率24/34)	部屋に圧迫感が出やすいため、完全に部屋を区切らずに支援を行っています。 引き続き、お子さんの姿に合わせた設備を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃や消毒作業の実施。また、ティッシュやアルコール綿はお子さんに届かないところで大人が取りやすい配置にしており、ケアしやすい状況を作っています。	はい:24(回答率24/34)	清潔な状態を保ちつつ、お子さんに合わせた環境づくりを心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティング等によって、効率的な方法をスタッフ間で相談しながら取り組んでいます。 また、お子さんの姿や支援方法を深めるためのミーティングも実施しています。	/	今後も運営ミーティングやスタッフミーティング、ケースカンファレンスなどを行い、意見交換や業務改善に向けた話し合いの機会を作っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていません。	/	実施を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の研修を実施しています。また、お子さんの疾患についてや医療的ケアについての研修も必要に応じて実施しています。	/	職員研修を実施しつつ、社外研修へ参加しやすい体制作りを行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成	ご家族のニーズをお聞きし、お子さんの姿、学校での様子等を検討した上で、支援計画を作成しています。	適切なアセスメントを行いながら支援計画を作成していきます。	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	個別療育のみの支援ではありますが、お子さんの姿や目標に合わせて、活動や関わり方をスタッフ間で共有しながら計画を作成しています。	はい:24(回答率24/34)	
	3	放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子さんとご家族が望む生活の形に向けて必要な要素を検討しながら、支援方法を考えています。	はい:24(回答率24/34) 保護者からの質問に対してもいつも分かりやすく丁寧にアドバイスしてまいります。支援内容を細かく提示していただき、何のために行っているのかよくわかります。	スタッフ間での連携を深めながら、お子さんの姿に合わせた支援計画を作成していきます。
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援目標やお子さんの姿をスタッフ間で共有しながら支援に取り組んでいます。	はい:24(回答率24/34)	お子さんとご家族のニーズを満たしていけるように、スタッフ間での意思疎通を図りながら、支援計画に沿った支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	作業療法の視点を主としながら、活動の目的を考え、プログラムを立案し、スタッフで共有しています。		目標に向かった活動プログラムを立案しながら、チームでの共通理解を徹底していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個別療育のみになるため、時期等に応じた変化はありませんが、目標に向かっていける支援を実施しています。	はい:22、どちらともいえない:2 (回答率24/34) 子に合わせて柔軟に対応していただいています。	お子さんとご家族のニーズを満たしていけるような支援を実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ目的でも活動を変えたり、段階づけを行うことで、楽しんで取り組んでもらえるような工夫を実施しています。		楽しみながら活動に取り組める工夫を考えながら、支援を実施していきます。「どちらとも言えない」という意見もお受けし、同じ活動を行う場合の説明も含めて、適切な活動プログラムが実施できるように検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
供 つ (続 き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日のお子さんの状態や活動の狙いを共有するように心がけています。また、ホワイトボードやスケジュール表を活用し、職員間でも見通しを持って支援ができるように取り組んでいます。	ホワイトボードやICT等も活用しながら、支援開始前に情報をしっかりと共有できるように意識していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	お子さんの様子や関わり方など気づいた点について共有しています。また、ICT機器を用いた情報共有ツールでの情報共有も行なっています。	今後も、ICT等も活用しながら、気づいた点について共有するように取り組んでいきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援については、お子さんの姿等の記録を残し、次回の支援時に参考にできるように取り組んでいます。	誰が見てもわかる形で、支援につながる記録の徹底を行っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施及び支援計画の見直しを行っています。	定期的なモニタリングと支援計画の見直しを徹底していきます。また、必要に応じて、それ以外のタイミングでの見直しも行っていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	お子さんの姿や支援の目標を把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	情報共有も含めてお子さんの支援につながる連携ができるように参画していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	直接的な連携は取れていませんが、ご家族を通して情報収集を行い、支援を実施しています。	必要に応じて、関係機関と直接連携をとれるように取り組んでいきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	発作や不調等の緊急時に連絡する病院や主治医については、保護者に緊急連絡先を記入していただき、すぐに連絡をとれるようにしています。	引き続き、緊急時等にすぐに連絡できるような体制を作っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	当事業所での様子や取り組み等を書面にして提供しています。	引き続き、当事業所での様子や取り組み等の書面を作成、提供していきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市のこども発達支援センターとの連携は行っています。研修については、スタッフへ情報を周知し、希望がある場合は出張として参加できるようにしています。		連携を行いつつ、スタッフの支援の質を高められるように取り組んでいきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	お子さん同士の交流は実施できていません。	はい:2、どちらともいえない:1、いいえ:9 わからない:10、未記入:2(回答率24/34) 個別療育なので。 どのように障害のない子どもと活動するのか、コロナでできないのか、わかりにくいです。	今後、当事業所でのお子さんへの支援における必要性を考慮しつつ、あり方を検討していきます。また、ご利用者の方にもその方針についてお伝えしていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民に向けた行事等は実施できていません。		地域のお子さんの居場所の一つとして認知される必要性は感じているため、今後の新型コロナウイルス等の情勢も考慮しながら、どのような形がいいか検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	大まかな支援の内容については、ご契約時にご説明しています。具体的なプログラムについては、療育終了後に保護者の方にご説明しています。利用者負担についても重要事項説明書を確認しながら説明しています。	はい:24(回答率24/34)	ご利用者様に伝わりやすい形での説明を心がけていきます。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画とその内容について、具体的な活動も提示しながらご説明しています。	はい:24(回答率24/34)	ご利用者様に伝わりやすい形での説明を心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子と共に、必要に応じて学校や家庭での取り組みについてお伝えしています。	はい:14、どちらともいえない:5、いいえ:2、わからない:3 (回答率24/34) 講演・勉強会など	「ペアレントトレーニング」として実施していますが、ご家族の対応力向上はお子さんの支援を行っていく上で大切な要素であると認識しています。そのため、より良い支援の質や方法を検討しつつ、支援内容が伝わりやすい方法を検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子と共にをお伝えし、現状の課題や支援方法について共有しています。	はい:23、どちらともいえない:1 (回答率24/34)	全ての方に「はい」とお答えいただけていない事実を踏まえ、より丁寧に情報共有をできるように心がけていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子と共にをお伝えし、現状の課題や支援方法について共有しています。また、家庭や学校での悩み等がある場合はその対応方法についてもお伝えしています。また、面談は定期的に実施しています。	はい:19、いいえ:2、わからない:3 (回答率24/34)	全ての方に「はい」とお答えいただけていない事実を踏まえ、子育ての悩み等にしっかりと耳を傾け、より丁寧にご相談をできるように心がけていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	昨年のご家族向けの学習会を実施しました。今年度も実施を予定しています。	はい:7、どちらともいえない:3、いいえ:5、わからない:9 (回答率24/34)	学習会等を定期的で開催し、保護者交流の機会としたいと考えています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情に対する対応体制と方法をお伝えし、利用者様に配布している通信で「ご意見箱」についてお伝えしています。	はい:16、どちらともいえない:1、わからない:7 (回答率24/34)	契約時や通信でお伝えはしていますが、周知ができていないため、掲示などをしながら、引き続き周知を徹底していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さんとのコミュニケーションには、カード、タブレット、スイッチ等も使用しています。また、昨年度より視線入力装置も導入しました。保護者の方とは毎回の療育後の情報共有や通信、SNS等のツールも活用しながら行っています。	はい:24(回答率24/34)	意思疎通や情報伝達ができるように、通信、SNS等のツール、ホームページ等を活用しながら取り組んでいきます。お子さんとのコミュニケーション方法についてもより良い方法を常に模索しながら取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	通信の配布やSNS等のツールの活用によって情報発信を行っています。	はい:22、どちらともいえない:1、わからない:1 (回答率24/34)	引き続き通信を発行していきます。また、感染対策など早く情報を届ける必要のある場合は、SNS等のツール、メールなどを使って発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護方針を定めて掲示し、必要事項については契約時に個人情報使用の同意書をいただいています。また、個人情報の含まれる書類については鍵付きの書棚に保管しています。	はい:23、どちらともいえない:1 (回答率24/34)	個人情報の取り扱いに留意しつつ、事業所の運営を行っています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	「安全管理マニュアル」として、それぞれへの対応マニュアルを作成しています。保護者の方へは「安全のしおり」を配布し、災害等の対応について周知しています。	はい:24(回答率24/34)	必要に応じてマニュアルのチェックと改訂を行いながら、周知徹底を進めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回の避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しています。また、AEDの研修等も実施しています。	はい:11、いいえ:1、わからない:12 (回答率24/34)	避難訓練の実施やAED等の研修について周知ができていませんでした。そのため、今後は事業所通信などを使って周知を徹底し、安心してご利用いただけるように取り組んでいきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待を防止するためのマニュアルを作成し、スタッフ全員に虐待防止研修を実施しています。		マニュアルはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。研修についても定期的に行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、やむをえず身体拘束を行う状況にないため、計画書等への記載はしていません。また、身体拘束を行う場合の決定については、管理者と常勤保育士で協議の上決定し、マニュアルを作成しています。		マニュアルや身体拘束を行う基準についてはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事やおやつを食べる機会がないため、対応していません。		食事やおやつを食べる機会がないため、対応していません。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、あらかじめ定めた書式に記載し、スタッフ全員で回覧し、それぞれが気づいたことを記入しています。		引き続き、ヒヤリハット事例集の作成と回覧による共有を徹底していきます。